

asteria
MDM One MI
インストールガイド

ご注意

このソフトウェアの著作権は、インフォテリア株式会社に所属します。このソフトウェア及びマニュアルの一部または全部の使用、複製、開示は、本製品の使用許諾契約書に記された制約条件の下でのみ使用することができます。

このソフトウェアは、原子力、航空宇宙産業、医療あるいはその他の人命に危険が伴う用途を目的として開発されておられません。このソフトウェアを上述のような用途に使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生した場合にインフォテリア株式会社は一切責任を負いかねます。

このソフトウェアの仕様およびマニュアルは、将来予告無しに変更することがあります。

Infoteria、インフォテリア、ASTERIA は、インフォテリア株式会社の登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその会社および製品を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

2014 年 6 月 16 日

インフォテリア株式会社

Copyright © 2008-2014 Infoteria Corp. All rights reserved.

目 次

1. インストールの前に	4
1.1. ライセンスの取得	4
1.2. ユーザーの作成	4
1.3. 注意事項	4
2. インストール	6
2.1. インストール手順	6
2.2. ライセンスキーの登録	30
2.3. 初期設定	31
3. インストールの後に	35
3.1. ASTERIA MDM One MI サーバー	35
4. アンインストール	45
4.1. サーバー アンインストール手順	45

1. インストールの前に

1.1. ライセンスの取得

ASTERIA MDM One MI サーバーを動作させるためにはライセンスキーが必要です。
ASTERIA MDM One MI サーバーをインストールする前にライセンスキーを取得してください。
ライセンスキーの取得方法につきましては、下記【URL】を参照してください。

【URL】 <http://asteria.jp/license/howtogetlic.html>

ライセンスの登録方法は「2.2 ライセンスキーの登録」を参照してください。

1.2. ユーザーの作成

ASTERIA MDM One MI サーバーをインストールする前に、ASTERIA MDM One MI サーバーを実行するためのユーザーを OS 上に作成する必要があります。管理ユーザー (root など) で ASTERIA MDM One MI サーバーをインストールする際は、セキュリティに十分注意して運用を行ってください。

1.3. 注意事項

1.3.1. 再インストール

ASTERIA MDM One MI サーバーの再インストールは、アンインストールしてから再度インストールしてください。上書きインストールはできません。

ASTERIA MDM One MI サーバーをアンインストールする場合、データフォルダはそのまま再利用できます。再利用するには、再インストール時に「簡易セットアップ」の場合は「データフォルダの初期化」の画面で、「カスタムセットアップ」の場合は「データフォルダの選択」画面で「データフォルダの初期化」のチェックをはずしてください。その他のサーバーの設定内容などは初期化されてしまいますので、プログラムフォルダをコピーするなどしてバックアップしておくことをお勧めします。

1.3.2. Microsoft SQL Server を利用する際の注意

Microsoft SQL Server をシステム DB やマスターDB に利用する場合、以下のコマンドを発行して READ_COMMITTED_SNAPSHOT オプションを ON にしておく必要があります。これをしておかない場合、デッドロックが発生することがあります。

```
ALTER DATABASE <database> SET READ_COMMITTED_SNAPSHOT ON;
```

<database>には使用するデータベース名を指定してください。

2. インストール

2.1. インストール手順

2.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで Windows にログインします。
2. インストール用の CD-ROM をドライブに挿入します。
3. 以下のファイルを実行し、ASTERIA MDM One MI サーバー(以下、サーバーと呼びます)のインストーラーを実行します。

install-asmdmonemi-win-x86.exe (x86 版)

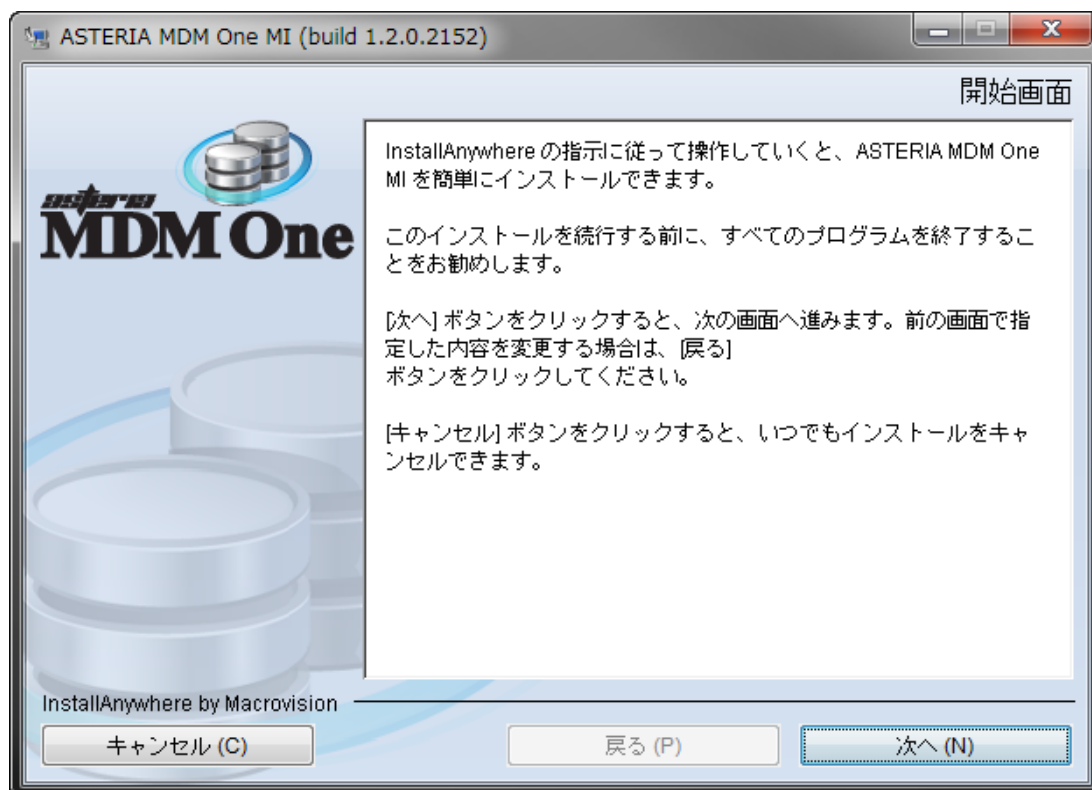
install-asmdmonemi-win-x64.exe (EM64T/AMD64 版)

4. 言語選択画面が表示されます。



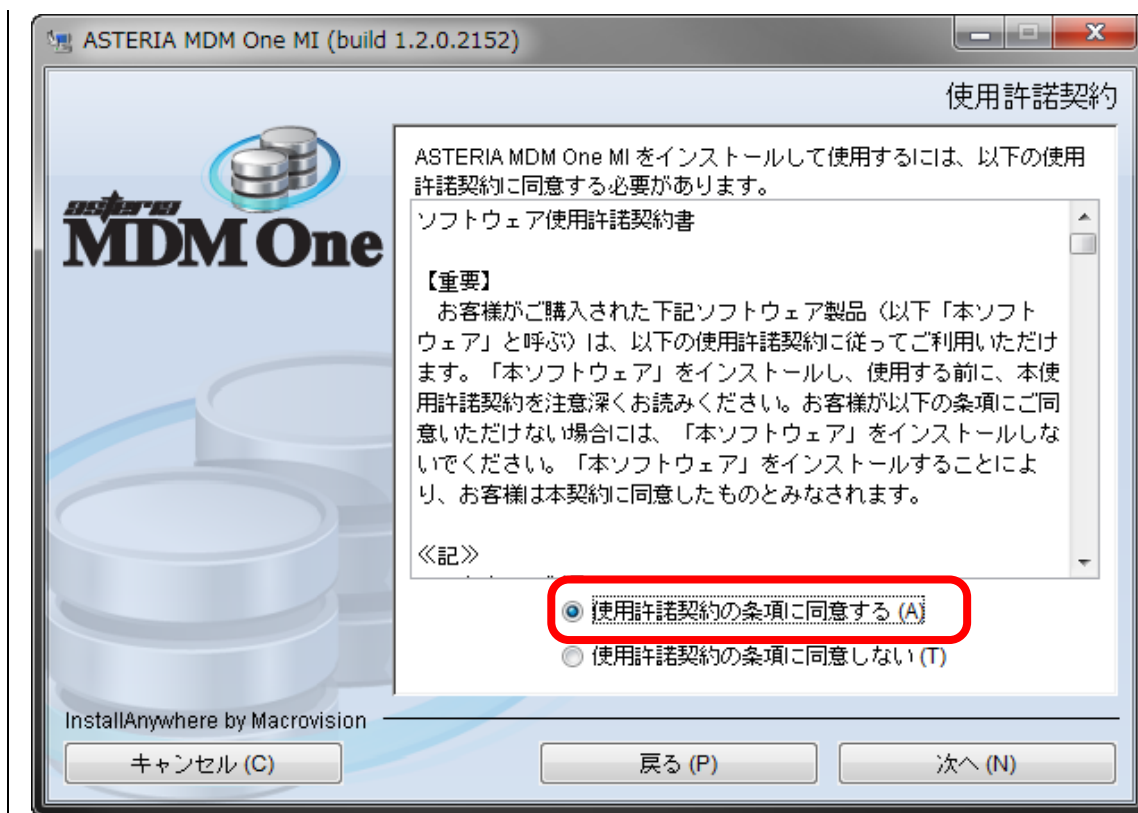
「日本語」を選択し、「OK」をクリックしてください。

5. 開始画面が表示されます。



インストールに際しての注意事項が表示されますので文章を読んだ後「次へ」をクリックしてください。

6. 使用許諾契約画面が表示されます。



ソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

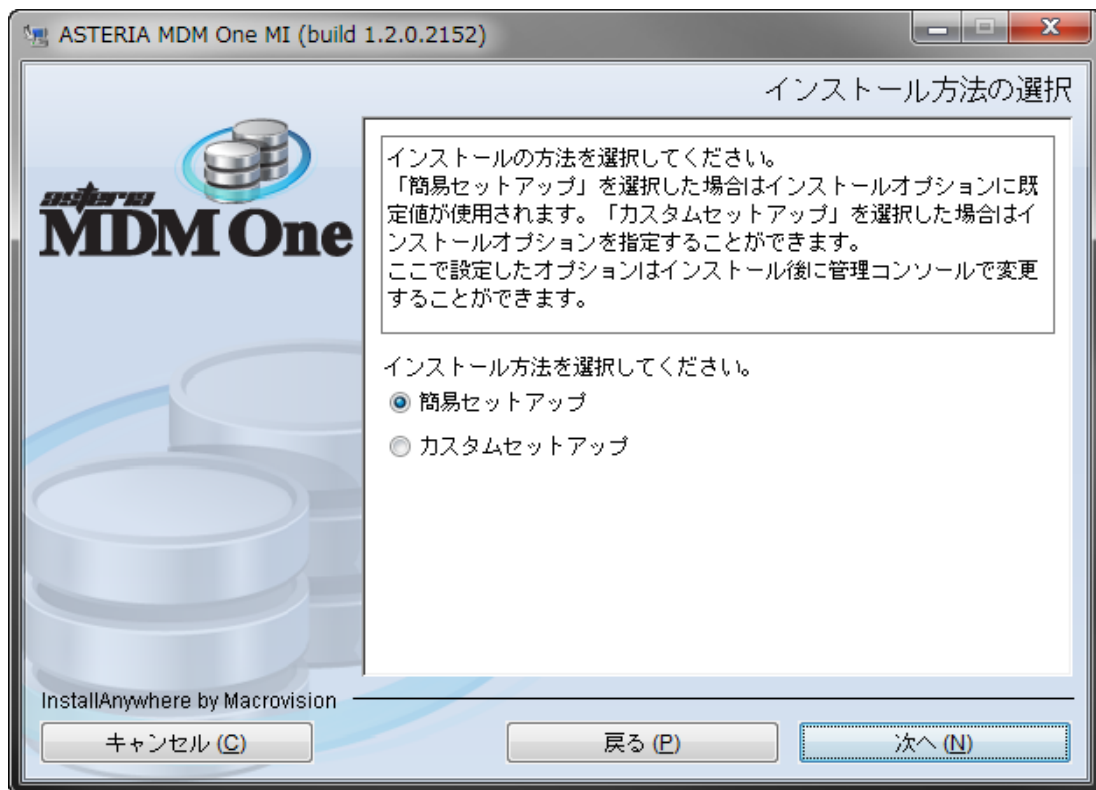
7. ライセンスキー入力画面が表示されます。



取得したライセンスキーをここで入力して登録することができます。

ここで登録しない場合は、「2.2 ライセンスキーの登録」を参照して登録してください。

8. インストール方法の選択画面が表示されます。



「簡易セットアップ」または「カスタムセットアップ」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

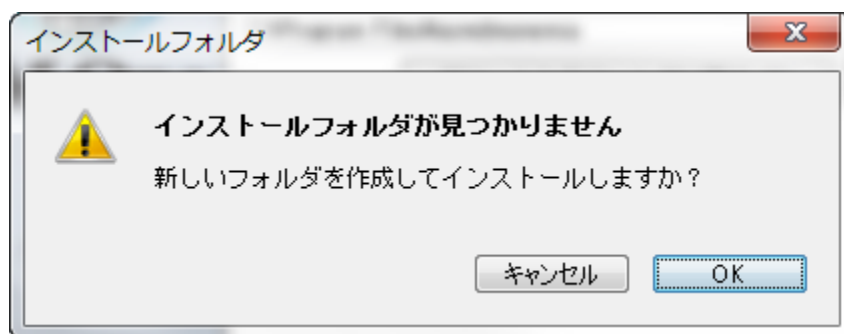
簡易セットアップ	標準の設定値を使ってインストールします。
カスタムセットアップ	各オプションを設定します。

9. ここからは7で「カスタムセットアップ」を選択した場合に表示されます。「簡易セットアップ」を選択した場合は、17.へお進みください。

10. インストールフォルダの選択画面が表示されます。



サーバーをインストールするフォルダを指定してください。指定したフォルダが存在しない場合は、次のダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



11. データフォルダの選択画面が表示されます。



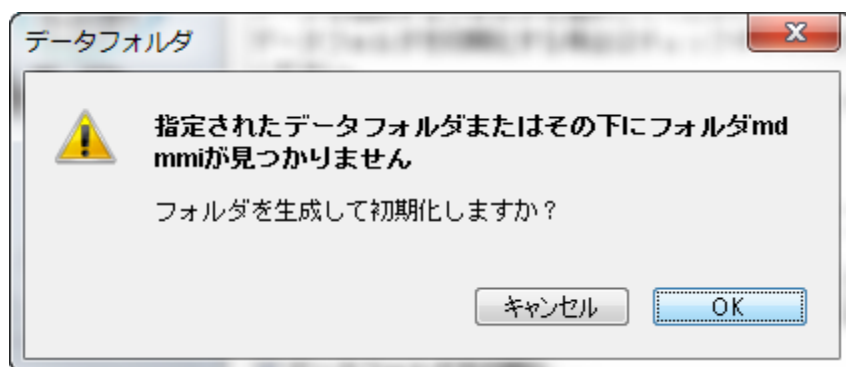
データを格納するフォルダを指定してください。

再インストールなどでデータフォルダを再利用する場合は、「データフォルダを初期化」のチェックをはずしてください。データフォルダの内容は更新されません。データフォルダを初期化しない場合、この先の管理ユーザーのパスワードを正しく入力しなければ正常に動作しなくなりますので十分注意してください。

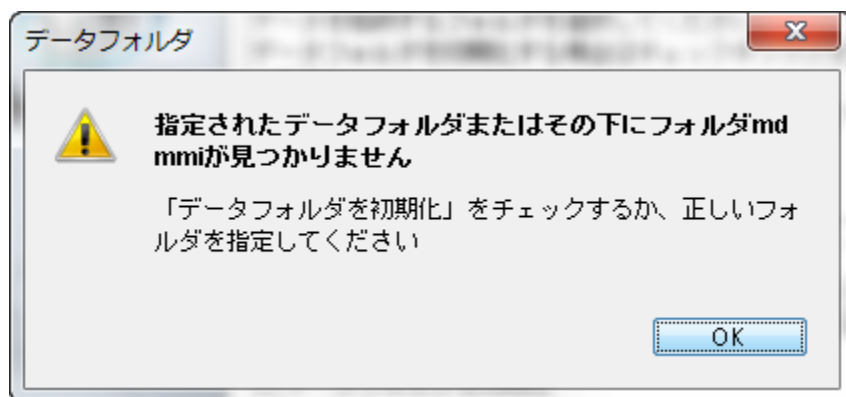
「データフォルダを初期化」をチェックした場合、同名のフォルダが存在するとインストール時に別名で退避されます。バックアップ先は次のフォルダになります。

[DATA_DIR].backup_<日付>

指定したフォルダが存在しない場合や指定したフォルダの下に本製品用のデータフォルダ (mdmmi)が存在しない場合は、次のようなダイアログが表示されます。フォルダを作成してインストールを進める場合は「OK」ボタンをクリックしてください。



「データフォルダを初期化」をチェックしないで、存在しないフォルダを指定した場合は、次のようなダイアログが表示されます。「データフォルダを初期化」をチェックするか、存在するフォルダを指定してください。



12. 管理者パスワード設定の画面が表示されます。

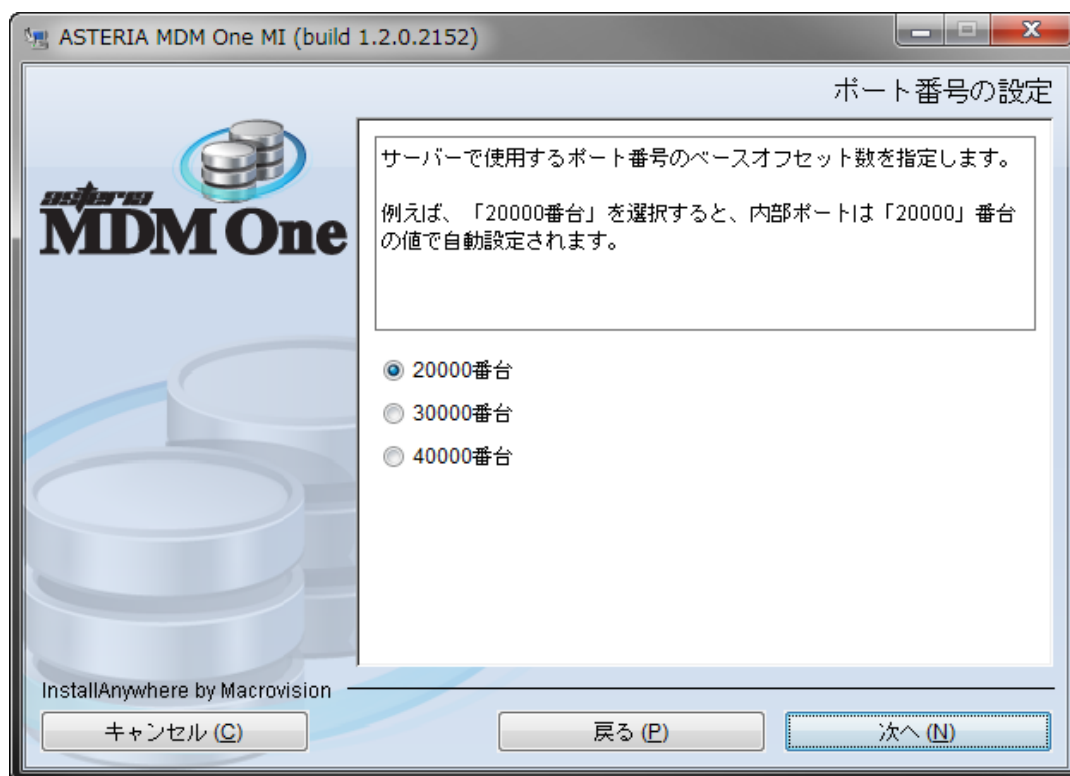


管理者パスワードを設定します。

パスワードはサービスの管理者「/asu」のパスワードです。インストール後にマスターポータルから変更することができます。

パスワードを設定したら「次へ」をクリックしてください。

13. ポート番号の設定画面が表示されます。



ここではサーバーで使用されるポート番号のベースオフセットを指定します。
ベースオフセットとは、サーバーが使用するポート番号の基準となる番号です。
例えば、「20000 番台」を選択した場合には、サーバーは 20000 番台のポートを使用します。
ベースオフセットを選択したら「次へ」をクリックしてください。

14. マスターポータルサービスポート設定の画面が表示されます。



ここではマスターポータルで使用するポート番号を指定します。

マスターポータル	マスターポータルのポート番号を指定します。
----------	-----------------------

ポート番号を設定したら「次へ」をクリックしてください。

15. Windows サービスの登録画面が表示されます。



ここでは Windows サービスに登録するかどうかを選択します。

「Windows サービスを登録します」をチェックした場合、Windows サービスとして登録され、サービス実行ができるようになります。

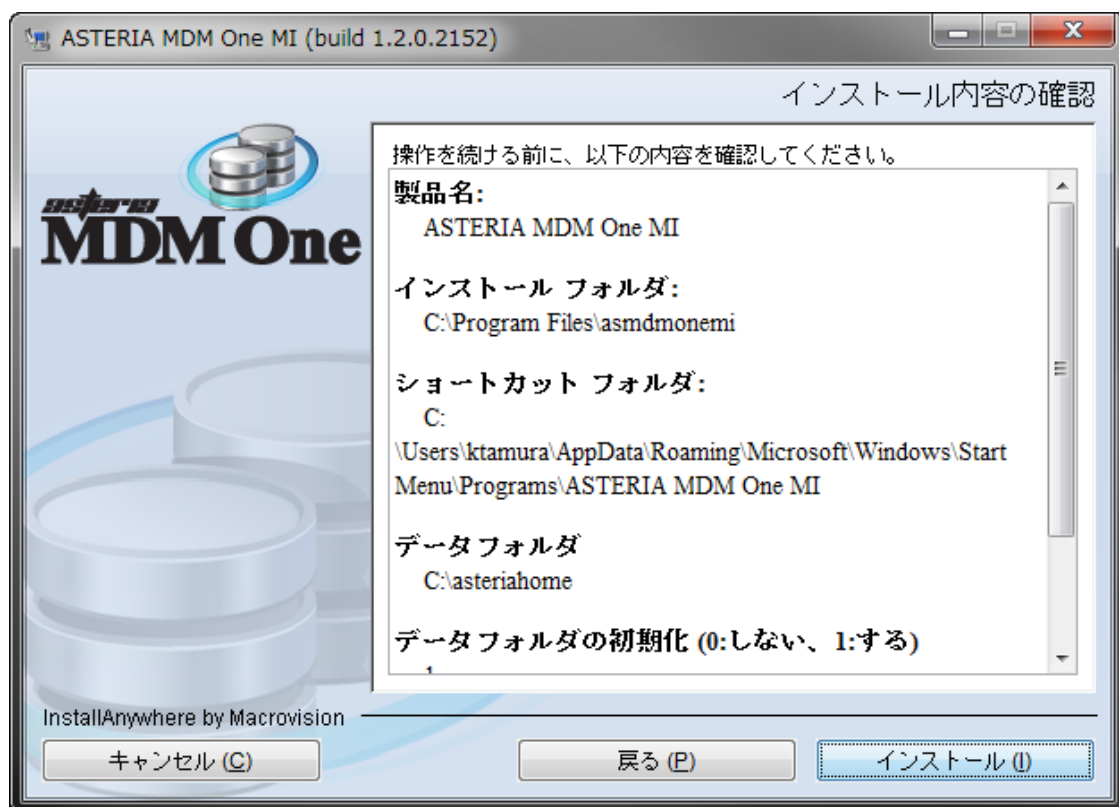
設定したら「次へ」をクリックしてください。

16. ショートカットフォルダの選択画面が表示されます。



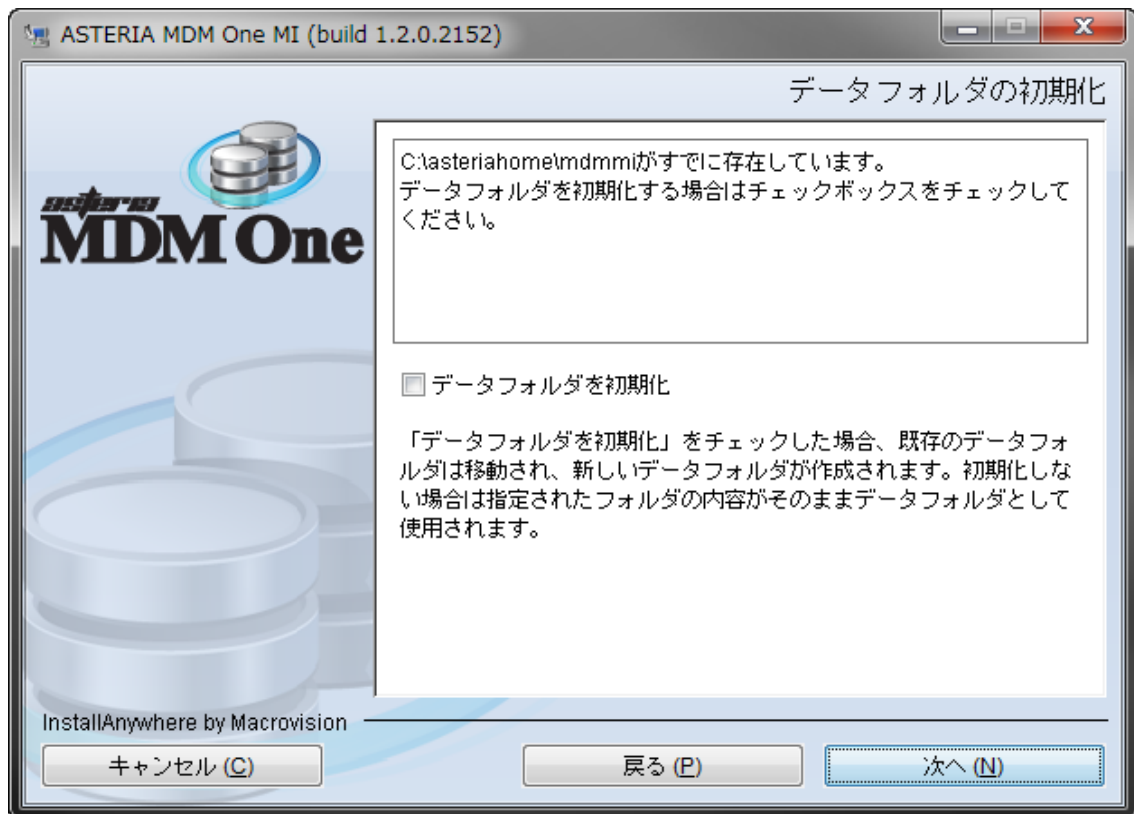
スタートメニューに登録する際のショートカットを作成する場所を選択します。
ショートカットフォルダを選択したら「次へ」をクリックしてください。

17. インストール前の要約画面が表示されます。



内容を確認したら「インストール」をクリックしてください。

「簡易セットアップ」を選択してデータフォルダがすでに存在していた場合、インストール前の要約画面ではなく次の画面が表示されます。

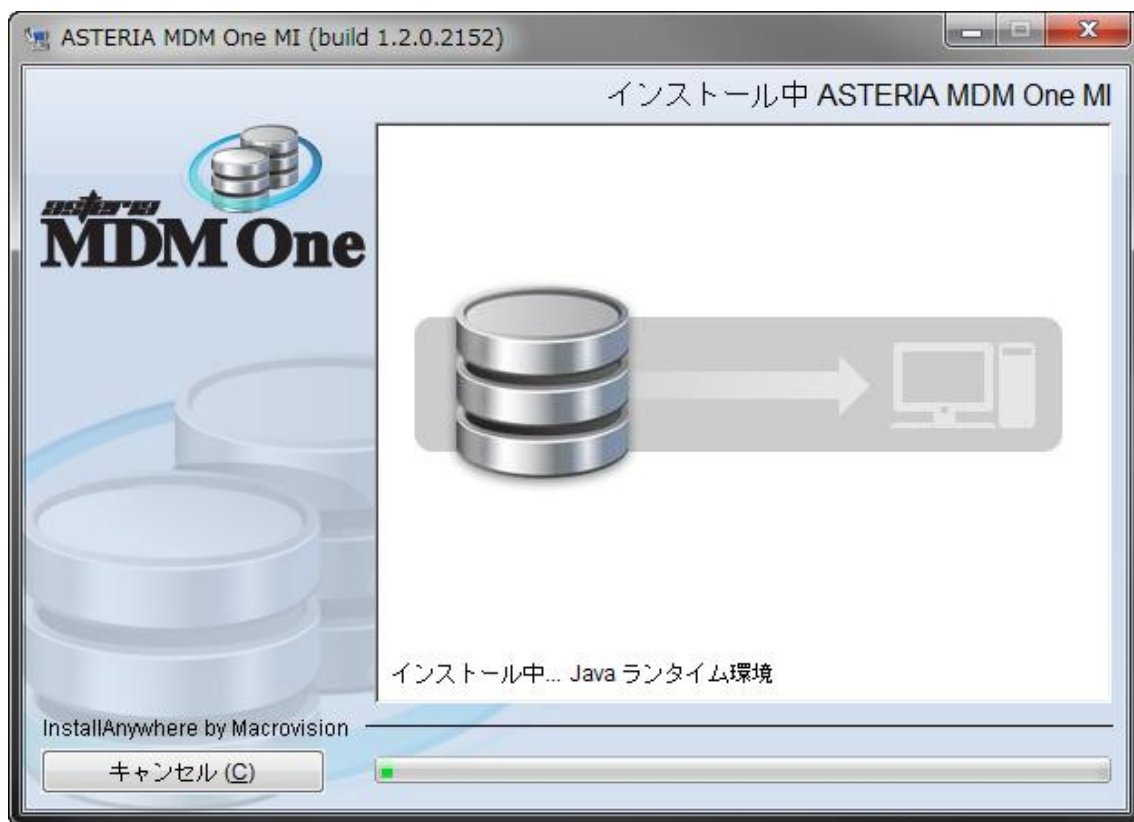


再インストールなどでデータフォルダを再利用する場合は、「データフォルダを初期化」のチェックをしないでください。データフォルダの内容は更新されません。データフォルダを初期化しない場合、以前に登録した管理ユーザーのパスワードを正しく入力しなければ正常に動作しなくなりますので十分注意してください。

「データフォルダを初期化」をチェックした場合、同名のフォルダが存在するとインストール時に別名で退避されます。

「次へ」をクリックするとインストール前の要約画面が表示されます。

18. インストールが開始されます。



19. インストールが完了するとインストール完了画面が出てくるので「完了」をクリックします。



2.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーでログインします。
2. インストール用の CD-ROM をドライブに挿入します。
3. CD-ROM のディレクトリへ移動します。

```
# cd /cdrom/asmi_1.4.0.4022_1
```

(下線部「1.4.0.4022」はバージョンによって異なることがあります。)

4. サーバーのインストーラーを確認します。

■Linux

install-asmdmonemi-linux-x64.bin (x64 版)

install-asmdmonemi-linux-x86.bin (x86 版)

5. サーバーのインストーラーを実行します。

```
# ./install- asmdmonemi-linux-x64.bin
```

6. 言語の選択画面が表示されますので<ENTER>キーを押します。以降、日本語を選択したことを前提として手順を説明します。

```
=====
Choose Locale...
-----

1- English
->2- 日本語

CHOOSE LOCALE BY NUMBER:
```

7. 開始画面が表示されますので<ENTER>キーを押します。

```
=====
開始画面
----
```

InstallAnywhere の指示に従って操作していくと、ASTERIA MDM One MI を簡単にインストールできます。

このインストールを続行する前に、すべてのプログラムを終了することをお勧めします。

各指示に従って操作すると、次のインストール手順へ進むことができます。前の手順で指定した内容を変更する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

[終了] ボタンをクリックすると、いつでもインストールをキャンセルできます。

続行するには <ENTER> キーを押します。::

8. 使用許諾契約の画面が表示されます。<ENTER>キーを押すと先に進みます。表示されるソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、同意する場合は「Y」、同意しない場合は「N」を入力して<ENTER>キーを押してください。

```
=====
使用許諾契約
-----
```

ASTERIA MDM One MI をインストールして使用するには、以下のライセンス契約に同意する必要があります:

ソフトウェア使用許諾契約書

.....

この使用許諾契約の条項に同意しますか。 (Y/N):

9. ライセンスキーの入力の画面が表示されます。

=====

ライセンスキーの入力

ASTERIA MDM One MI のライセンスキーを入力してください。

ライセンスキー 1 (DEFAULT: 入力しない):

取得したライセンスキーをここで入力して登録することができます。

ここで登録しない場合は、「2.2 ライセンスキーの登録」を参照して登録ください。

10. インストール方法の選択画面が表示されます。「簡易セットアップ」の場合は「1」を、「カスタムセットアップ」の場合は「2」を入力して<ENTER>キーを押してください。
(各セットアップの内容は Windows 版の手順を参照してください。)

=====

インストール方法の選択

インストールの方法を選択してください。

「簡易セットアップ」を選択した場合はインストールオプションに既定値が使用されます。

「カスタムセットアップ」を選択した場合はインストールオプションを指定することができます。

ここで設定したオプションはインストール後に管理コンソールで変更することができます。

->1- 簡易セットアップ

2- カスタムセットアップ

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:

11. ここからは 10. で「カスタムセットアップ」を選択した場合に表示されます。「簡易セットアップ」を選択した場合は、0 へお進みください。

12. インストールフォルダの選択画面が表示されます。サーバーをインストールするフォルダを指定してください。

```
=====
インストール フォルダを選択
-----
```

インストール場所を指定してください。

デフォルトのインストール フォルダ: /home/user/asmdmonemi

絶対パスを入力するか、<ENTER> キーを押してデフォルトを受け入れてください。

:

13. インストールフォルダが存在しない場合以下の画面が表示されます。サーバーをインストールするフォルダを作成してください。

```
=====
インストールフォルダ
-----
```

インストールフォルダが見つかりません。新しいフォルダを作成してインストールしますか？

->1- OK

2- キャンセル

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。: :

14. データフォルダの選択画面が表示されます。

データを格納するフォルダを指定してください。

```
=====
データフォルダの選択
-----
```

ユーザーデータを格納するフォルダを入力してください。

相対パスを指定した場合は/home/user の下のフォルダになります。

デフォルトは、/home/user/asteriahome です。

データフォルダ (DEFAULT: asteriahome):

15. データフォルダが存在しない場合以下の画面が表示されます。データフォルダを作成してください。

=====

データフォルダールフォルダ

データフォルダが見つかりません。新しいフォルダを作成してインストールしますか？

- >1- OK
2- キャンセル

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:

16. データフォルダを初期化するかどうかを選択します。

データフォルダを初期化する場合は「1」を、再インストールなどでデータフォルダを再利用する場合は、「2」を入力してください。<ENTER>キーを押してください。

「1」を選択した場合、同名のフォルダが存在するとそのフォルダはインストール時に別名で退避されます。

「2」を選択した場合データフォルダの内容は更新されません。この場合、この先の管理ユーザのパスワードを正しく入力しなければ正しくインストールできませんので十分注意してください。

=====

データフォルダを初期化しますか？

「初期化する」を選択した場合、既存のデータフォルダは移動され、新しいデータフォルダが作成されます。

「初期化しない」を選択した場合、指定されたフォルダの内容がそのままデータフォルダとして使用されます。

- >1- 初期化する
2- 初期化しない

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:

17. システム管理者のパスワードを入力します。確認のため、2度同じパスワードを入力して

ください。

システム管理者のパスワードはシステム管理者「/asu」のパスワードです。インストール後にマスターポータルから変更することができます。

=====

システム管理者のパスワードの入力

システム管理者のパスワードを入力してください。

パスワード:*

=====

システム管理者のパスワードをもう一度入力してください。

パスワード(再入力):*

18. ポート番号を設定します。

ここではサーバーで使用されるポート番号のベースオフセットを指定します。

ベースオフセットとは、サーバーが使用するポート番号の基準となる番号です。

例えば、「20000 番台」を選択した場合には、サーバーは 20000 番台のポートを使用します。

=====

ポート番号の設定

サーバーで使用されるポート番号のベースオフセット数を指定します。

例えば、「20000 番台」を選択すると、内部ポートは「20000」番台の値で自動設定されます。

->1- 20000 番台

2- 30000 番台

3- 40000 番台

選択する項目の番号を入力するか、デフォルトを使用する場合は <ENTER> キーを押してください。:

19. マスターポータルで利用するポート番号を指定します。

指定したベースオフセットによってデフォルトのポート番号が表示されます。変更したい場合は各ポート番号を指定してください。各ポートの詳細は Windows 版の手順を参照してください。

また、1024 番以下のポートを利用するには、サーバーを root ユーザーでインストール、実行する必要があります。

```
=====
ポート番号
-----
```

マスターポータルのポート番号を入力してください。空の場合は次のポート番号になります。

マスターポータル : 27443

マスターポータル(DEFAULT: デフォルト値):

20. インストールの要約が表示されます。内容が正しければ<ENTER>キーを押してください。

```
=====
インストール前の要約
-----
```

操作を続ける前に、以下の内容を確認してください。

製品名:

ASTERIA MDM One MI

インストール フォルダ:

/home/user/asteriamdmmi

データフォルダ

/home/user/asteriahome

データフォルダの初期化 (1:する、2:しない)

1

ディスク容量情報 (インストール先):

必要なディスク容量: 134,299,633 バイト

使用可能なディスク容量: 8,775,266,304 バイト

続行するには <ENTER> キーを押します。:

21. インストールが開始されます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----]
```

22. インストールが完了するとプロンプトが戻ってきます。

```
=====
インストール中...
-----

[=====|=====|=====|=====]
[-----|-----|-----|-----]
#
```

2.2. ライセンスキーの登録

ASTERIA MDM One MI サーバーはライセンスキーを登録しなければ動作しません。

ライセンスキーはインストーラーで登録することができますが、インストール後に登録する場合は次の手順でおこないます。

2.2.1. 新規登録の場合

初めて ASTERIA MDM One MI サーバーを利用する場合や、評価版ライセンスから正規ライセンスへ移行する場合などはこの手順でライセンスキーを登録します。

1. 次のいずれかの方法でライセンスキーを登録します。

(ア) ファイルをコピーします

[INSTALL_DIR]/license/license.txt にライセンスファイルをコピーします。

(イ) ファイルにキーコードを追加します。

[INSTALL_DIR]/license/license.txt をテキストエディタで開きます。(Windows Vista で Program Files 配下にインストールした場合、管理者モードで編集しなければ正しく上書きされないことがありますので注意してください。)

下のように入力されていますので、太字のようにライセンスキーコードを追加します。

```
#####  
# Please add the license key code under here.  
#####  
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
```

2.2.2. ライセンスを追加する場合

システムの接続数を追加する場合などはこの手順でライセンスキーを登録します。

1. [INSTALL_DIR]/license/license.txt をテキストエディタで開きます。

下のように入力されていますので、太字のようにライセンスキーコードを追加します。

```
#####  
# Please add the license key code under here.  
#####  
XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX  
YYYY-YYYY-YYYY-YYYY-YYYY
```

2. サーバーを起動します。

2.3. 初期設定

ASTERIA MDM One MI サーバーは 2 種類のデータベースを使用します。

システムデータベース

本サービスが内部的に利用するデータベースです。

マスターデータベース

本サービスで管理するマスターのデータを格納するためのデータベースです。

インストール完了後に、これらのデータベースの接続先を設定する必要があります。Windows 版の場合、インストールが正しく終了した場合、インストーラー完了後に初期設定の画面がブラウザで表示されます。もし表示されない場合は、Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

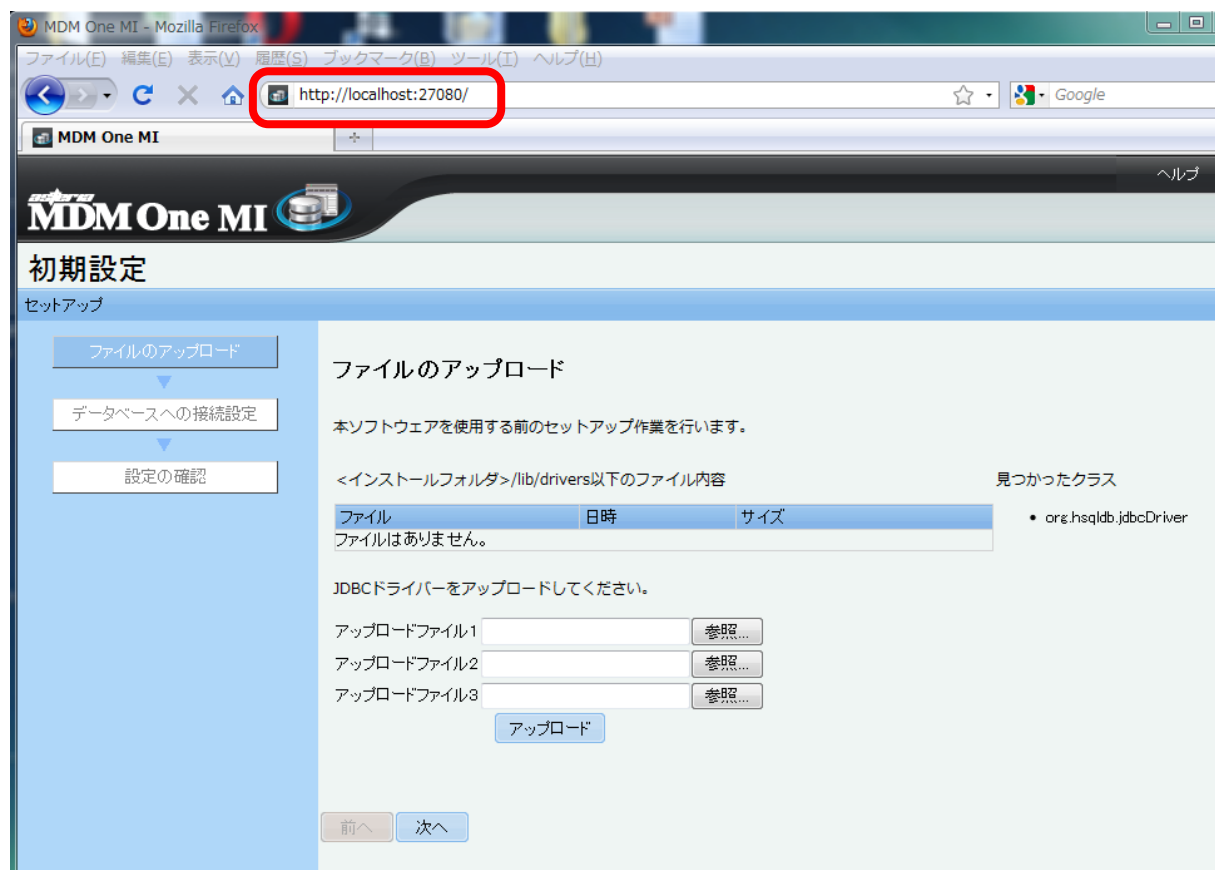
`http://<server>:27080/`

<server> 部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
※ ライセンスを正しく登録していない場合、初期設定のプロセスが開始できません。この場合、ライセンス登録後に `[INSTALL_DIR]/bin/mdesetup-start.exe` を実行して初期設定プロセスを起動してください。

Linux 版では初期設定用プロセスが自動で起動しないので、下記コマンドでプロセスを起動し、Windows などの Web ブラウザから上記 URL へアクセスしてください。

```
# ./asmdmonemi/bin/mdesetup-start
```

ブラウザからアクセスすると、次のような初期設定の画面が表示されます。



2.3.1. 初期設定の手順

1. 初期設定画面からデータベースの接続に必要な JDBC ドライバーを登録します。参照ボタンを押下して JDBC ドライバーを選択します。

初期設定

セットアップ

ファイルのアップロード

データベースへの接続設定

設定の確認

ファイルのアップロード

本ソフトウェアを使用する前のセットアップ作業を行います。

<インストールフォルダ>/lib/drivers以下のファイル内容

ファイル	日時	サイズ
ojdbc6.jar	2009/09/14 14:04	1977444

見つかったクラス

- oracle.jdbc.OracleDriver

JDBCドライバをアップロードしてください。

アップロードファイル1 C:\jdbc\ojdbc6.jar 参照

アップロードファイル2 参照...

アップロードファイル3 参照...

アップロード

前へ 次へ

JDBC ドライバーを選択したら「アップロード」ボタンを押下して登録します。アップロードが完了したら「次へ」をクリックします。

2. 接続情報の登録を行います。システムデータベースとマスターデータベースの接続先を別々に登録する場合は、「マスターデータベースとシステムデータベースを別々の設定にする」をチェックして接続情報を入力してください。

初期設定

セットアップ

ファイルのアップロード

データベースへの接続設定

設定の確認

データベースへの接続設定

☒ マスターデータベースとシステムデータベースを別々の設定にする

マスターデータベース システムデータベース

データベースタイプ Oracle(Thin)

ドライバー oracle.jdbc.OracleDriver

URL jdbc:oracle:thin:@[HostName]:1521:[ORACLE_SID]

ユーザー

パスワード

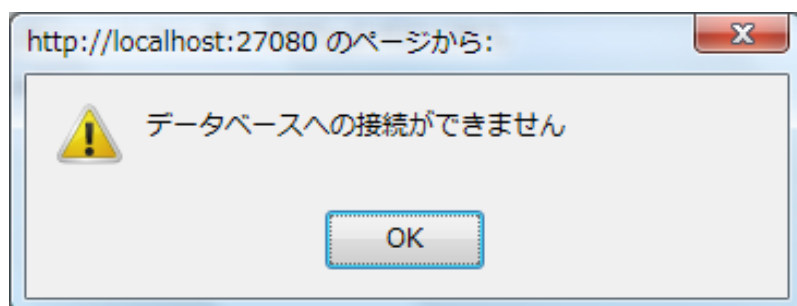
コネクションプール する

前へ 次へ 接続テスト

入力を終わったら「接続テスト」ボタンで接続ができるかどうか確認することができます。接続に成功すると以下のような画面が表示されます。



入力を終わったら「次へ」ボタンをクリックします。接続ができない情報が入力されていた場合、下記のダイアログが表示されて次の画面へ進むことができませんので、注意してください。



3. 設定した内容を確認して「設定を保存して初期設定を終了する」を押下します。

初期設定

セットアップ

ファイルのアップロード

データベースへの接続設定

設定の確認

設定の確認

下の内容で良ければ「設定を保存して初期設定を終了する」をクリックしてください。

アップロードしたファイル

- ojdbc6.jar

データベース設定

共通設定

データベースタイプ oraclethin

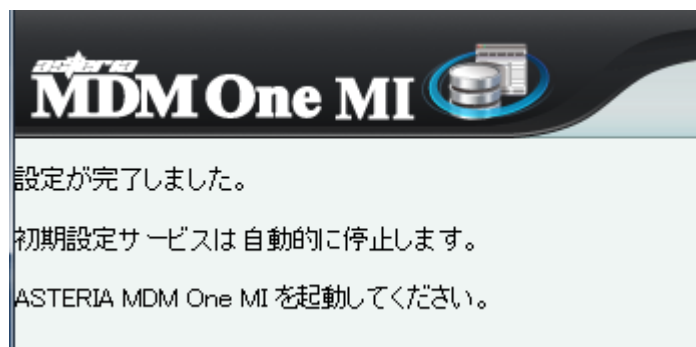
URL jdbc:oracle:thin:@mdmone.database.1521:ORCL

ドライバ oracle.jdbc.OracleDriver

ユーザー mdmone

前へ 次へ 設定を保存して初期設定を終了する

4. 完了画面が表示されます。これで、ASTERIA MDM One MI サーバーを起動することができるようになります。



3. インストールの後に

3.1. ASTERIA MDM One MI サーバー

3.1.1. ASTERIA MDM One MI サーバーの起動

サービスは次のいずれかの方法で起動できます。

- **Windows サービスからの起動**

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA MDM One MI」を起動します。

- **Windows スタートメニューからの起動**

Windows のスタートメニューから「ASTERIA MDM One MI」・「MDM One MI サービス開始」を実行します。

※ インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

3.1.2. サービスの停止

サービスは次のいずれかの方法で停止できます。

起動方法に応じた停止方法でサービスを停止してください。

- **Windows サービスからの停止**

Windows の「管理ツール」から「サービス」を起動し、「ASTERIA MDM One MI」を停止します。

- **Windows スタートメニューからの停止**

Windows のスタートメニューから「ASTERIA MDM One MI」・「MDM One MI サービス停止」を実行します。

※ インストール時にショートカットの作成先を変更した場合はそちらを参照してください。

3.1.3. マスターポータルへのアクセスについて

ASTERIA MDM One MI サーバーで利用するユーザーの作成や各種設定、ログの参照、サービスの起動設定などは、「マスターポータル」にて行います。利用するには、Web ブラウザから以下の URL にアクセスします。

`https://<server>:27443/`

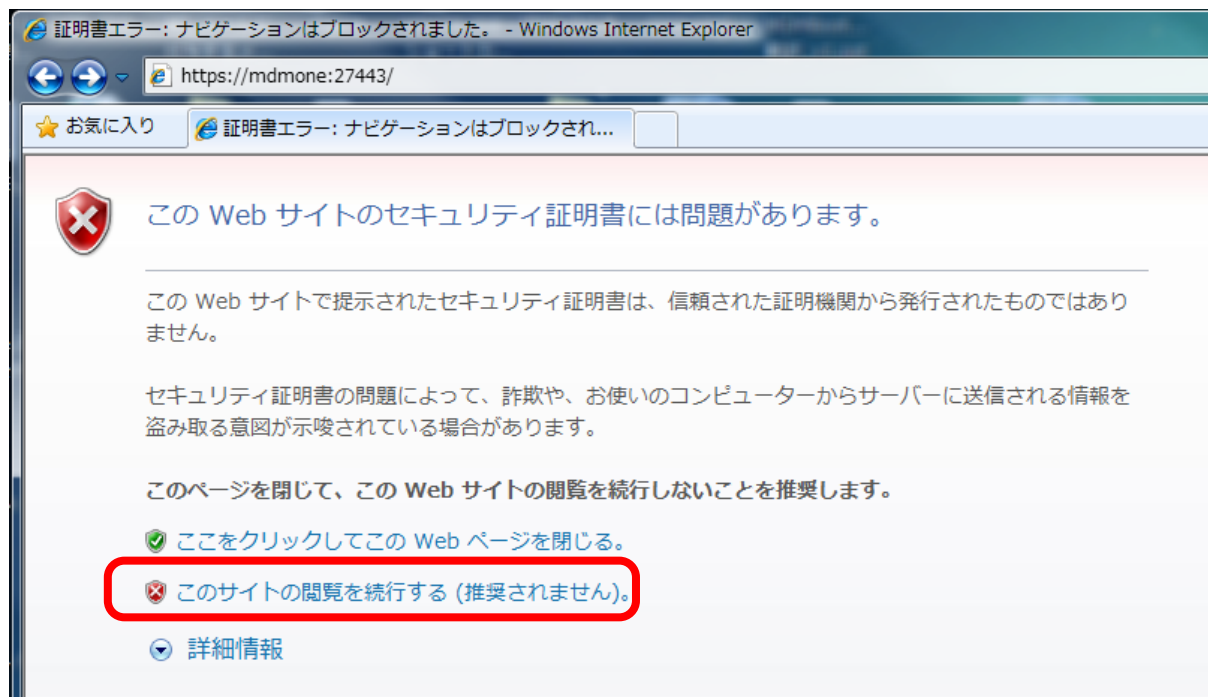
<server>部分は、サーバーをインストールしたマシンの IP アドレスまたはホスト名を入力します。デフォルトでは自己署名の証明書が使われますので、ブラウザで例外を許可する設定を行う必要があります。

3.1.4. マスターポータル証明書のブラウザへの登録

マスターポータルのトップページを表示するためにはブラウザへ証明書を例外登録しておく必要があります。登録の方法は以下のとおりです。

● IE7/IE8 の場合

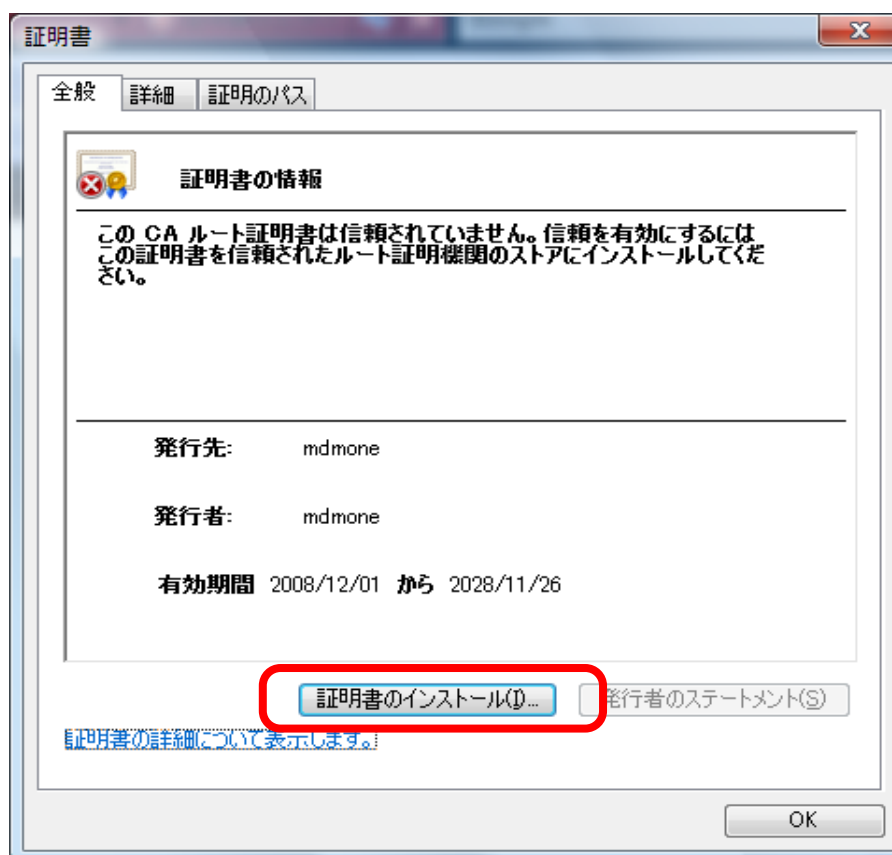
1. 以下の様なページが表示されますので「このサイトの閲覧を続行する」をクリックします。



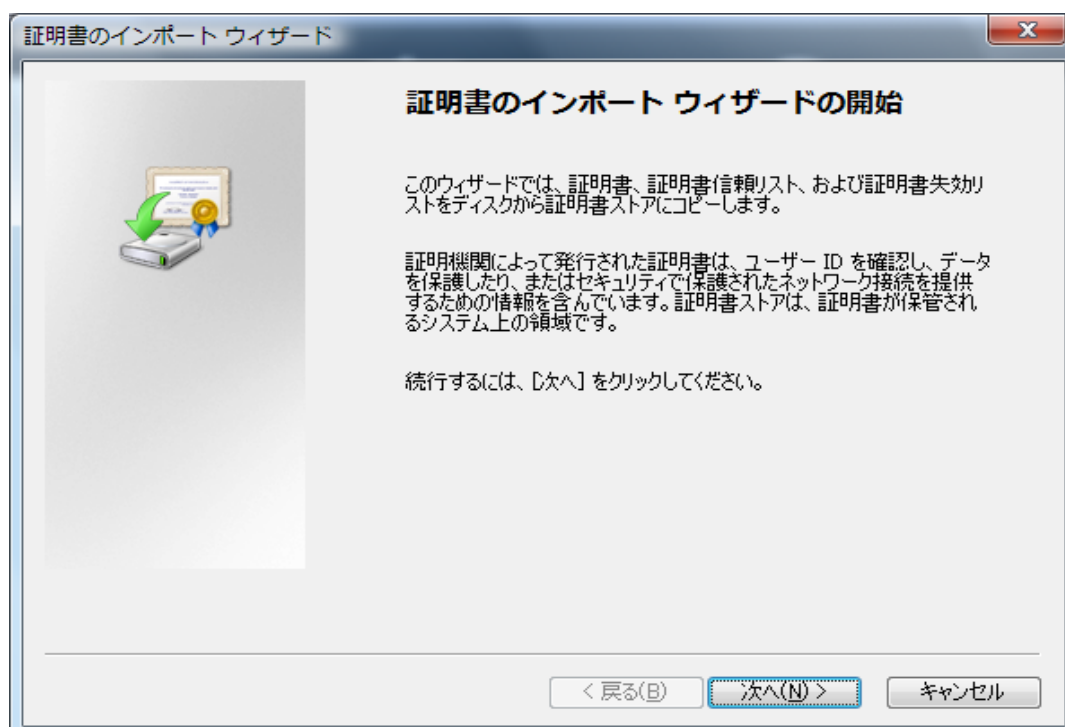
2. アドレスバーの右側に、「証明書のエラー」のアイコンが表示されるので、それをクリックします。



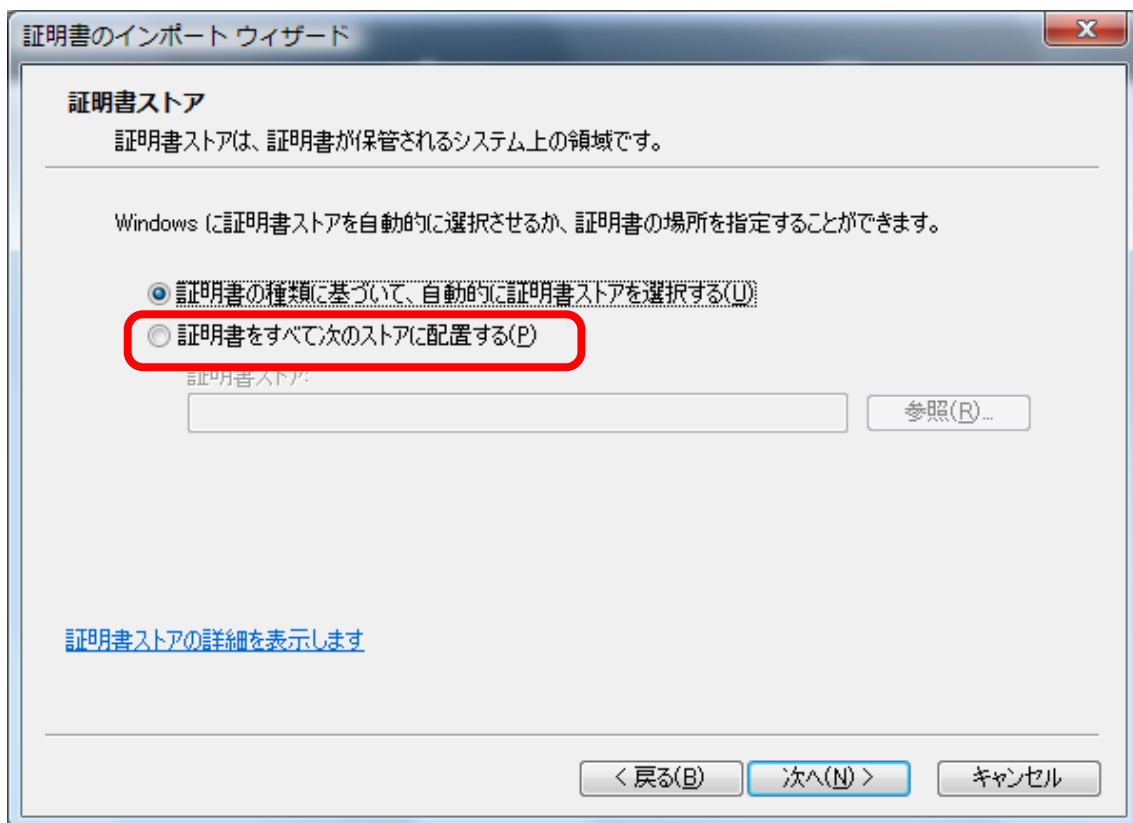
3. 証明書に関するダイアログが表示されるので「証明書のインストール」をクリックします。Windows vista の場合は管理者権限で IE7/IE8 を起動する必要があります。



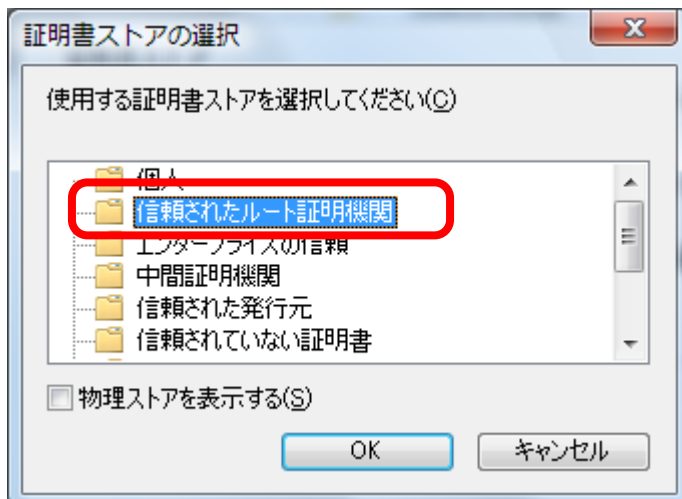
4. ウィザードに従って証明書をインストールします。

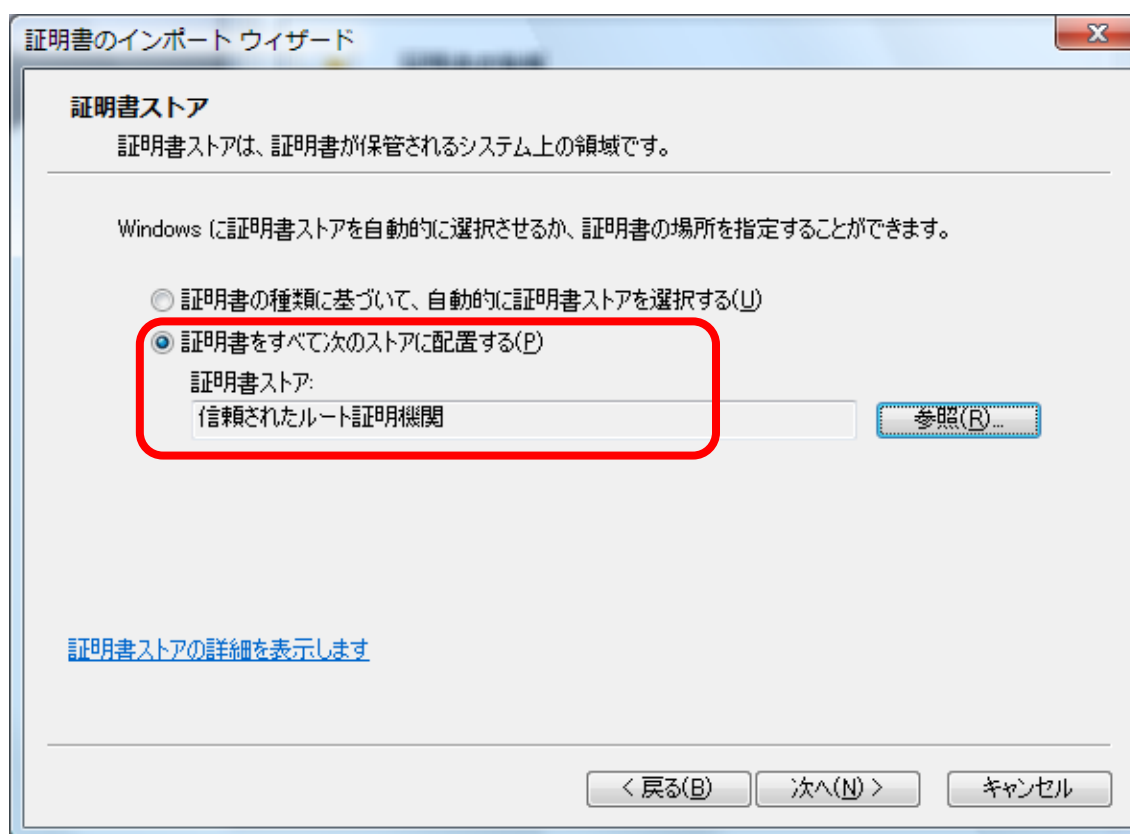


5. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択して、「参照」をクリックします。~~証明書を「信頼されたルート証明機関」へ配置します。~~

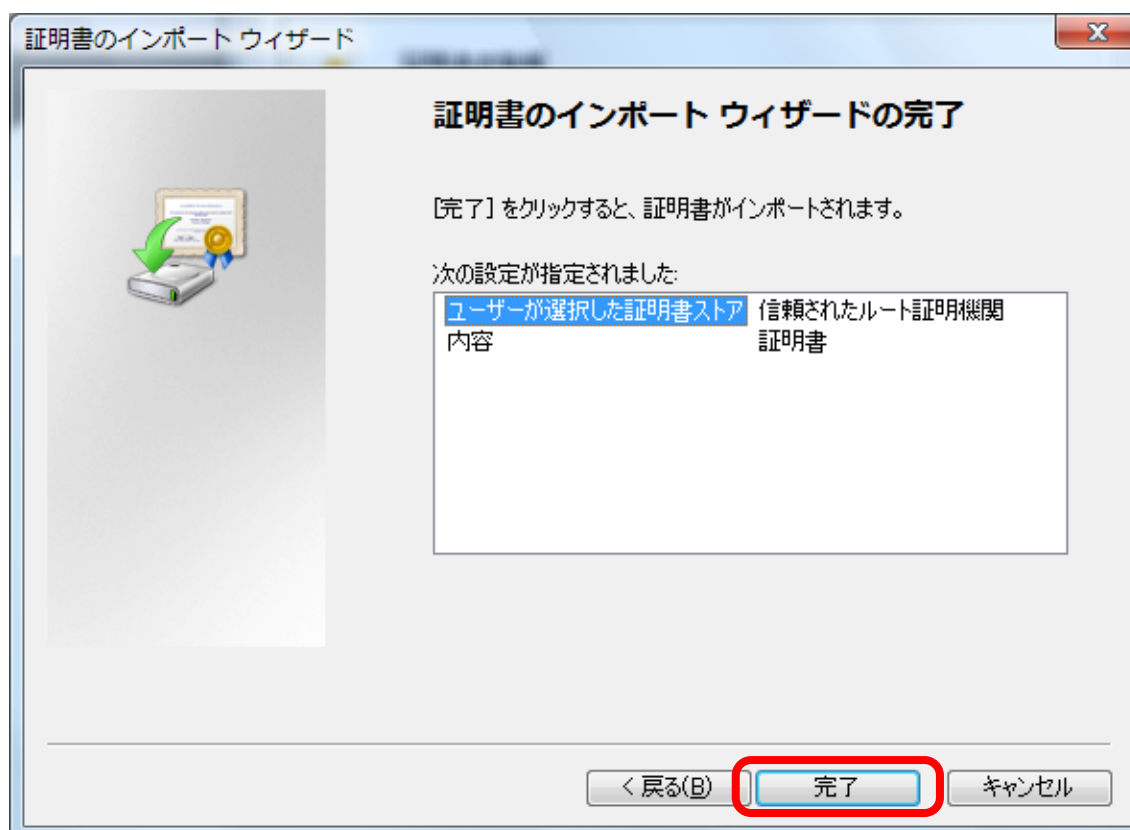


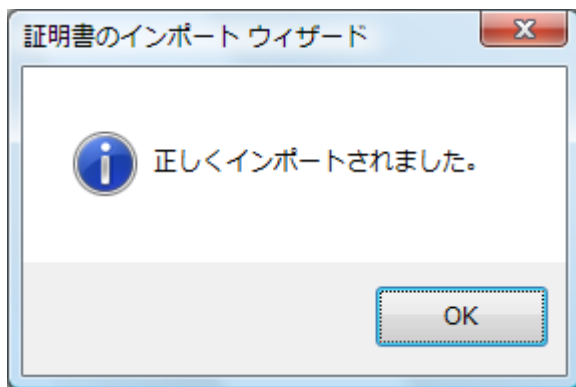
6. 証明書を「信頼されたルート証明機関」へ配置します。「信頼されたルート証明機関」を選択して「OK」をクリックします。





7. 完了をクリックします。





● FireFox3 の場合

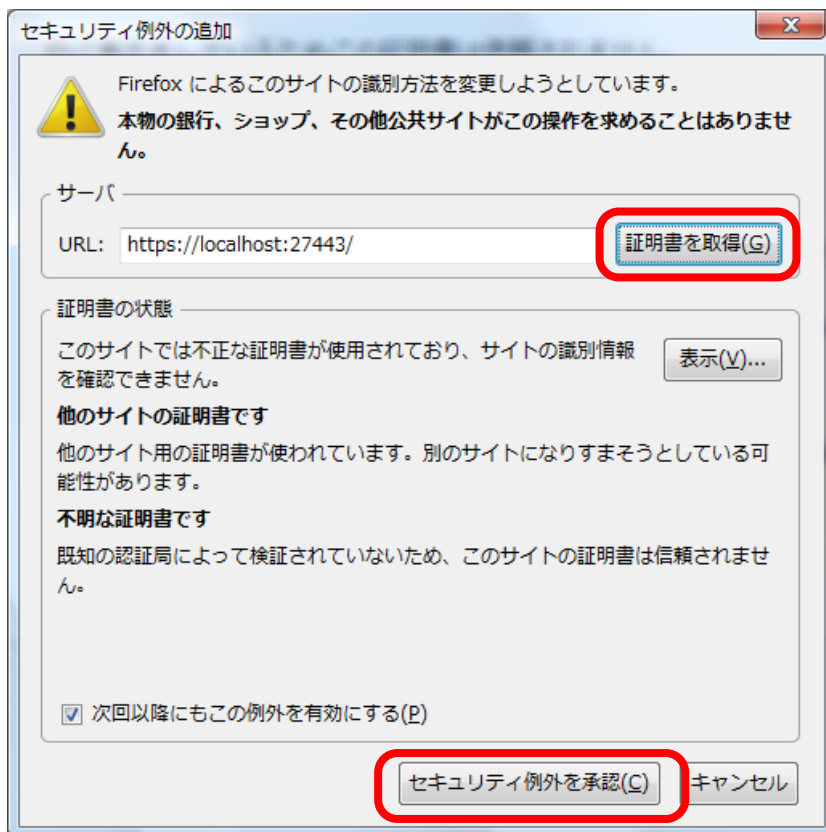
1. 以下の様なページが表示されますので「例外として扱うこともできます」をクリックします。



2. 次に「例外を追加」をクリックします。

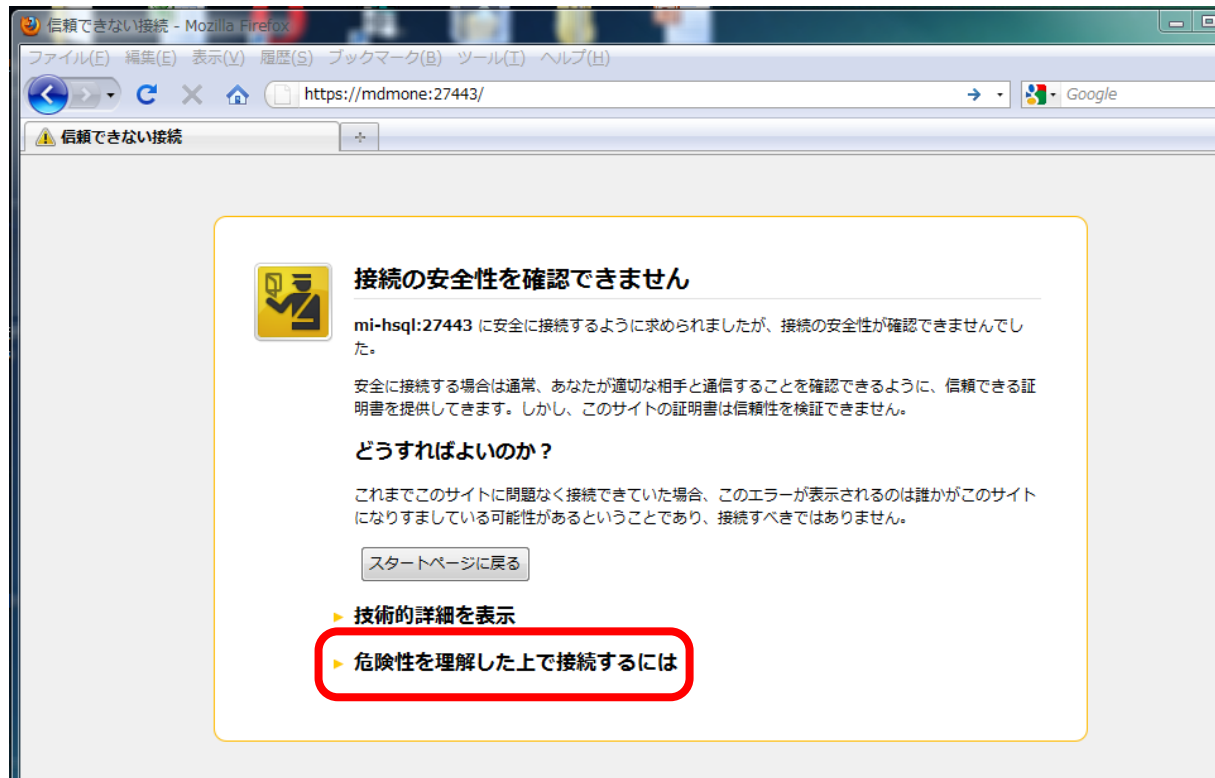


3. そして、「証明書を取得」をクリックして「セキュリティ承認の追加」をクリックします。



● Firefox3.5 の場合

1. 以下の様なページが表示されますので「危険性を理解したうえで接続するには」をクリックします。



2. 次に「例外を追加」をクリックします。

▶ 技術的詳細を表示

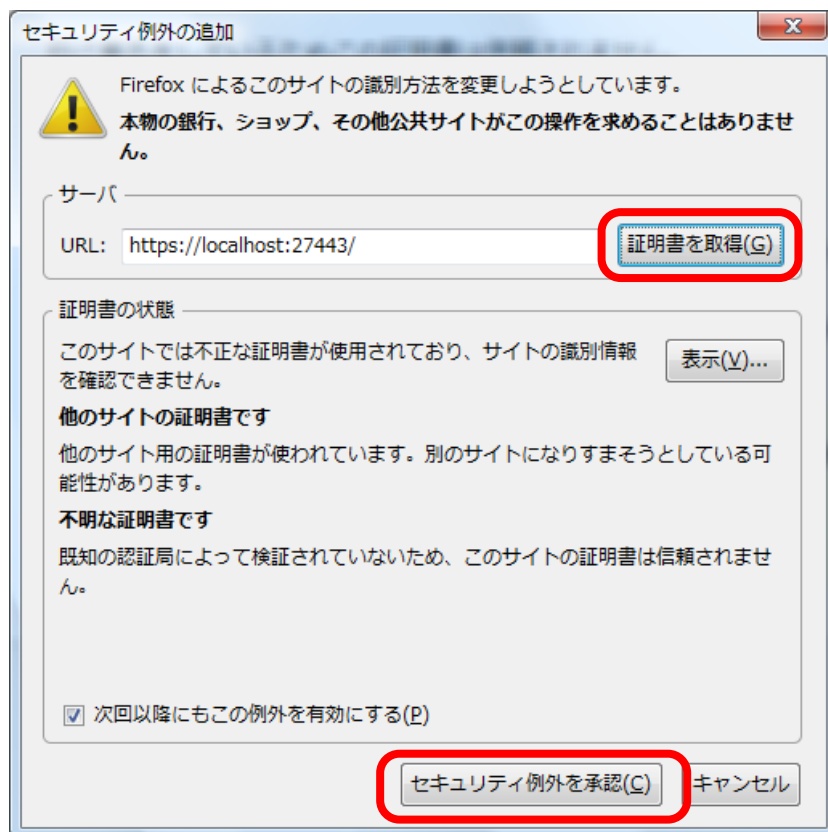
▼ 危険性を理解した上で接続するには

何が起こっていて何が問題なのか理解できているのであれば、この Firefox にセキュリティ例外を追加することもできます。ただし サイトであっても、誰かが通信を改ざんしているからこのエラーに 分に注意してください。

信頼できる証明書をこのサイトが使用しない正当な理由がない限り。

例外を追加...

3. そして、「証明書を取得」をクリックして「セキュリティ承認の追加」をクリックします。



その他のブラウザは各ブラウザのヘルプなどを参考にして登録してください。

3.1.5. マスターポータルへのログインについて

マスターポータルのトップページにて、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に ASTERIA MDM One MI 管理者の情報を入力し、設定画面へログインします。

インストール直後の場合は、ASTERIA MDM One MI 管理者のパスワードはインストーラーで入力した内容が登録されています。「asu」ユーザーとしてログインします。以下のように入力します。

ユーザー名	asu
パスワード	(インストール時に設定した、ASTERIA MDM One MI 管理者のパスワード)



ログインすると、以下の画面が表示されます。



3.1.6. ASTERIA MDM One MI サーバーの利用方法について

ASTERIA MDM One MI サーバーの詳細についてはオンラインヘルプを参照ください。
次の URL でアクセスできます。

<http://asteria.jp/mdm/mi/current/docs/help/index.html>

スタートメニューの「オンラインヘルプ」またはマスターポータル「ヘルプ」メニューからもアクセスできます。

4. アンインストール

4.1. サーバー アンインストール手順

4.1.1. Windows の場合

1. インストールユーザーで **Windows** にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを終了します。
3. スタートメニューから「アンインストール **ASTERIA MDM One MI**」を実行します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

※ インストールフォルダには一部のファイルが残ることがあります。完全にアンインストールするには、アンインストール実行後にインストールフォルダを削除してください。

※ データフォルダはアンインストールされません。完全にアンインストールするにはデータフォルダも削除してください。

※ サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。

4.1.2. Linux の場合

1. インストールユーザーで **OS** にログインします。
2. サーバーを実行中の場合はサーバーを終了します。
3. インストールフォルダを削除コマンドで削除します。
4. 必要に応じてデータフォルダを削除します。

※ 削除コマンドの使い方は **OS** のマニュアル等を参考にしてください。

※ サーバーなどが実行中の場合、アンインストールが正しく実行されない場合があります。必ず終了させてからアンインストールを実行してください。